

平成 30 年度 「ケア・カフェ埼玉みさと」 プレ開催実施結果

1 開催結果

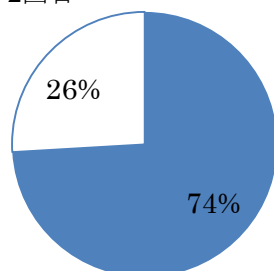
開催日	場所	PR 担当		テーマ	参加者数/ 申込者数
7/13 (金)	鷹野文化センター	薬剤師会 (海老原薬剤師)	訪問看護ステーション連絡会 (阿部所長)	薬・くすり	28/31
9/14 (金)	瑞沼市民センター	歯科医師会 (吉崎歯科医師)	リハビリテーション連絡協議会 (榎本理学療法士)	リハビリ～そこが知りたい～	42/45
10/12 (金)	保健センター一分室	医師会 (谷口医師)	介護支援専門員連絡協議会 (秋葉介護支援専門員)	ケアマネさんのイメージって？	36/38

時間は毎回 18:30～20:30

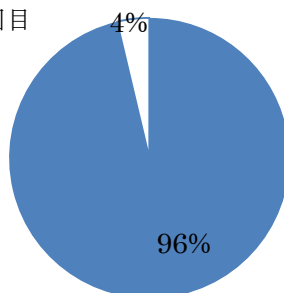
2 参加者の反応 (アンケート結果から)

Q テーマの語らいやすさ

2回目



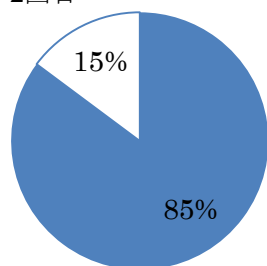
3回目



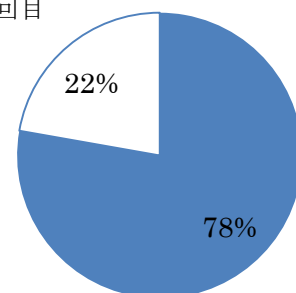
- 話やすかった
- ふつう
- 話しにくかった

Q テーマは今後に役立つか

2回目



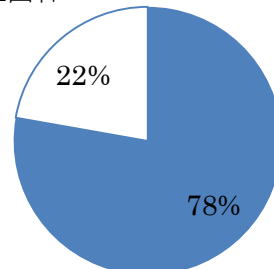
3回目



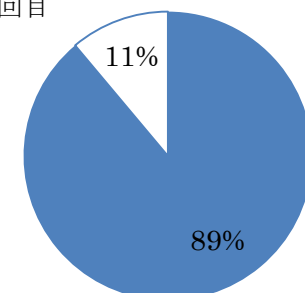
- とても役に立つ
- ふつう
- あまり役に立たない

Q また参加したいと思うか

2回目

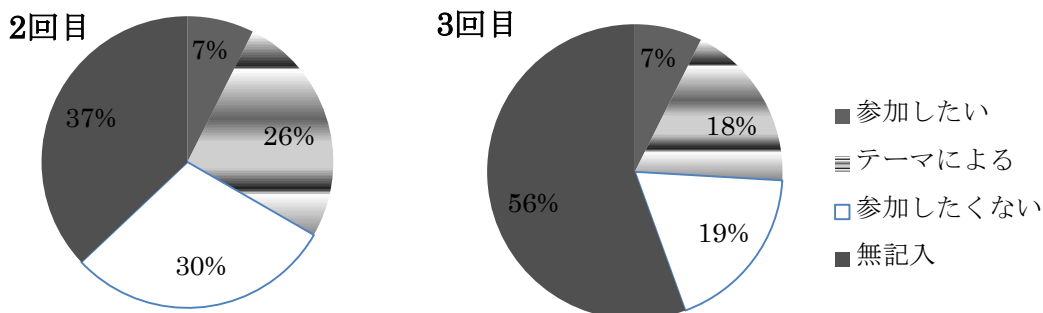


3回目



- 参加したい
- どちらともいえない
- 参加したくない

Q 今後、「ケア・カフェ埼玉みさと」のスタッフをやってみたいと思うか



Q 最も参加しやすい曜日、時間帯、場所

- ・2回目 3回目ともに、金曜日、18時～20時、公共施設の希望が最多。

3 今後取り上げてほしいテーマ（アンケート結果から）

- ・高齢者の栄養
- ・配食サービス・地域でできる活動について
- ・困難事例の対応方法、各職種の介入について
- ・薬の飲み忘れがないような関わりや連携
- ・市役所のしくみ（介護保険）
- ・認知症
- ・医療と介護の連携
- ・モニター利用者
- ・介護
- ・福祉用具の最新情報
- ・訪問看護のイメージ

4 運営協力者との次年度に向けた評価会議結果

日時：平成30年11月5日 16時～17時

場所：在宅医療介護連携サポートセンター

参加者：海老原委員、佐藤委員、榎本委員、秋葉委員、藤井所長、安保事務長、八巻

- ・参加者へのアンケートでは、スタッフ協力可能と記銘いただいた方も数名あり。実行委員の立上げは可能。
- ・ただし、市の研修事業として実施するには、マニュアル通りのケアカフェの実施方法では不可（情報交換会の域を脱しない）。今年度試行として実施した、職種別の業務理解を促進するような講義の時間をもっと充実させるなど、オリジナルの実施方法を希望する。（他市の事例を提示）
- ・また、ケアカフェと研修会の両方を事業計画とすることもできない。協力いただく多職種への負担にもなる。
- ・今月の協議会で提案予定だが、次年度からは南北の検討部会を解散し、研修会を企画運営する部会を立ち上げたい。

【結論】

- ・研修部会を立上げ、ケアカフェ形式（講義＋グループディスカッション）による研修会を開催する。研修会の合間に純粋なケアカフェを開催するかは、部会で検討する。